

## 視覚教材(DVD)を取り入れた精神保健の教育実践

担当教員 教育実践総合センター 加藤匡宏

### 1. 授業の外観

本講義はスポーツ健康コースの選択科目であり、精神保健という心理学と医学の融合分野の基礎知識を教育教授する科目である。筆者は、スポーツ健康コースの学生は、一般就職を視野に入れた就職活動を意識しており、またスポーツ指導にあたることから、医学専門知識の教育教授ではなく、メンタルヘルス全般に関して、DVD教材を使用して人格障害特にサイコパスに焦点を絞って講義を実施した。学校精神保健分野は、子ども、保護者、教諭自身が悩むか？それとも社会を悩ませるか？がテーゼとアンチテーゼを構成する。近年、アンガーマネジメントについての社会学研究が進むにつれて、「犯罪を楽しむ」人格障害者（サイコパス）が存在することを知る必要がある。健常発達者がメンタルヘルスの保持増進するための重要な課題は以下である。(1)子どもについては自閉症スペクトラム障害を含めた教室で個別支援が必要な児童の精神疾患焦点を当てる必要がある。(2)保護者に対しては、モンスターペアレントとなりやすい事象を理解する必要がある。(3)教諭については、それら支援の必要な児童とモンスターペアレントに挟まれて、厳しい学級運営や教員間での孤立化などについて触れ、教諭のおかれている厳しい現状を提示する必要がある。今回、DVDを用いて、最近の社会病理の中で重要な話題となっているサイコパスについて解説した。また、Psycho-pass(プロダクションIGの作品)を使用したことによって、佐世保の女子高校生殺人事件、パソコン遠隔操作事件などに共通する精神病理を身近な話題として提供

することができた。

### 2. 授業の評価法

授業評価は学生からの無記名自由記載アンケートおよびWEBによる無記名回答で回収した。Q:卒業時の到達目標である教育学部DP1-4のそれぞれについて、この授業の受講前と比較して向上したかについて、4段階で自己評価した(1:向上していない, 2:どちらかと言えば向上していない, 3:どちらかと言えば向上した, 4:向上した)

### 3. 授業評価結果

学生全員 DP1-4 については、「向上した」「向上した」であった。

DVDを利用したことによる自由記載

学生A: DVD(Psycho-pass)は有名なアニメーションであり、物語の背景にサイコパス犯罪を意識させる内容であった。就職しても、サイコパスの存在に気をつけたい。

学生B: サイコパスの見分け方をしりたい。アニメーションによって意識づけられた。

学生C: 犯罪を構成する概念(構成要件・・違法性・有責性)について、刑法や迷惑条例について法律用語をについて解説を聞くことができた。

学生D: 教師がモンスターペアレントに悩む理由がよくわかった。

学生E: サイコパスによる職場の混乱ほどの職場でも潜在的にある問題として知ることができた。

学生E: 教師が心を病む理由がよくわかった。教師が多難な時代だと思った。

学生F: 心の健康の保持増進は難しいと思った。

学生G: DVDを使用していただき内容がおもしろかったが、著作権は大丈夫なのか？

心配になった。

学生 H:パワーポイントスライドがないので、内容がよく理解できなかった。

学生 J:サイコパスの存在を現在、日本で起こっている犯罪事例を通してみるができるようになった。

学生 K:教員採用試験に直結した内容とは言い難いが、興味ある勉強方法を実感できてよかった。

#### 4. 時間外学習時間の促進

時間外学習時間の促進のために、精神保健の内容具体的内容を含むアニメーション(空中ブランコ)などを視聴するように勧めた。

#### 5. まとめ

学生は、スポーツ健康コースに在籍するため、一部体育教師を目指しているが、体育教諭は教員採用試験が難しく、一般(企業)就職やスポーツインストラクター就職を考えていた。精神保健という医学系科目について興味をもちながら受講していたようである。筆者は、教員採用試験に出題されそうな内容に特化するのではなく、どこの職場でも潜在的に存在するサイコパスについて、学生が巻き込まれたときどのように対処するか、もしくは、自身が引き起こさないようにする法律・メンタリティーなど一般の素養についてアニメーション(Psycho-pass)を用いて教育教授するようにつとめた。受講生が20-21歳であることから、アニメーションやゲームなどに慣れており、興味を持たせることができたと思う。

学生は精神疾患・発達障害支援など精神医学の専門性の高い医学分野についての内容

を期待していた様子であるが、サイコパスの特徴に特化した内容でも、小・中・高校教諭のメンタルヘルス全般について十分な理解があったと思う。本講義は、医学の基礎知識を教育教授する座学ではなく、最近話題になるアニメーション教材としてPsycho-passを使用したことによって身近な話題であるサイコパス者(犯罪者)に潜む「心の闇」について重きをおいた。受講生において精神保健という科目の実感はつかめたが、理論の体系理解については不明である。成書の知識用語を明確に使用できるかどうかはわからない可能性が高いように思えた。DVD 視覚教材を用いた教育を実施したことは、学生にとって新鮮な印象を与えたと思われる。精神保健は専門用語の定義が難しく、診断基準の提示に多くの時間を必要とする。そのような医学的知識を教育教授することよりも、学生の関心の高い内容(アニメーション Psycho-pass)の自らの学びは、学生に達成感を与えることができた。筆者は、今回使用した DVD を Youtube にアップロードされている作品を講義中に視聴させた場合についての著作権法との関連事象を勘案した。現行の著作権法では、配信先が限定された履修者間であっても、インターネット配信の仕組みを利用する場合に著作者の公衆送信権(著作権法第23条第1項)を勘案する抵触する可能性があり、オンデマンド授業コンテンツ上で第三者著作物を利用することは違法行為となる可能性があるため、不特定多数の学生に対して公開することは著作権法第35条が定める教育機関における複製であっても制限がかかる可能性があるので注意が必要である。